



2002年5月発行  
 発行人：芦原 直哉  
 発行所：神戸市中央区海岸通 8  
 神港ビルディング 5 階 509  
 T E L : 078-393-0050  
 F A X : 078-393-0051  
 E-Mail : [kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
 U R L : <http://www.kobekeio.org/>  
 編集：八巻 晤郎・堀 友子

～ 4 月度例会報告 ～

村上 功 (昭 39 理工)

4月24日倶楽部ルームに於いて「音痴の話」という非常に興味あるテーマで、大阪音楽大学学長西岡信雄さんの講演がありました。



西岡さんは幼稚園からの生粋の塾生で工学部3年次終了後、商学部へ転部、卒業されたこと、在学中から大阪フィルのフルート奏者であったこと、さらには音大、芸大出身でない音楽大学の学長であることなど異色のご経歴の持ち主です。

西岡さんのご専攻は「音楽人類学」であり「音痴の研究」が教育学、医学の分野で散見するが、音楽の領域では研究が殆どないことからこの研

究をはじめられたとのこと。

いわゆる「音痴」は病気ではなく「能力のグラデーション」であり世の中に「音痴度ゼロ」の人はいないということを前提に、症状の分類、原因の分類を聴講者の爆笑の中ユーモアたっぷりに講演されました。

またカラオケ嫌いの西岡さんがこの研究のためにカラオケ通いをされたということも興味深いお話でした。とても軽妙洒落な講演の雰囲気は再現できませんが、当日聴講できなかった読者のために講演の内容を要約しますので会場の雰囲気を汲み取って頂きたいと思います。

「音痴の症状」の分類

- \* リズム音痴：「間」が正しく取れない、いわゆる「マヌケ」、「マノビ」
- \* 音程音痴：音程はずれ
- \* 音色音痴：発音がうまくできない
- \* 情感音痴：情感を表現できない、治るタイプと治らないタイプがある。

慶雲應輝

同窓会の幹事はゴールのない駅伝ランナーのようなものだ。与えられた区間を全力で走りぬぎ、先輩から受け継いだ「たすき」を次のランナーに渡す。こうして「たすき」は未来永劫渡されていくのだ。途中で走るのを止めたり、寄り道するわけにはいかない。神戸慶應倶楽部の「たすき」は七十年以上も多くの先輩方の血と汗と涙に塗れた貴重なものなのだ。

今回、堺副幹事に「たすき」を渡すことになった。思えばこの二年間という区間に多くの先輩や後輩に励まされ応援されて全力で走りぬいたと思う。過ぎてみればあつという間であった。

改革が急であつたためご批判もいただいたが、「あと一期ぐらい務めて欲しかった。」という身に余るお話もいただいた。涙がでるほど嬉しかったが、それをしてはいけないと自らに言い聞かせた。

駅伝ランナーは決められた区間を全力で走りぬかなければならない。中継所に来たらお前は早いタイムを出したから次の区間も走れといわれてもまず走れるランナーはいないだろう。もし走れるとしたら全力疾走していなかったか、次の区間ではバテてゆっくり走ってしまう。そして若手のランナーが育たなくなってしまうのは明白だ。

企業経営でも同じである。経営者は社長の椅子にしがみついてゆっくり走っているようでは競争に負け後継者も育たない。

ペンネームの瑞應とは帝が変わる時、次の時代が素晴らしくなるであろうという予兆のことである。それを期待してペンを折ることとする。二年間のご

愛読に感謝。

(瑞應)

尚、「方向音痴」と「味音痴」はこの分類に入らない。念のため。

#### ○「音痴の原因」の分類

- \* 真性音痴：自覚症状はない。音の入力回路の不良、聴力不全ではない。
- \* 擬似音痴：入力回路に問題はなく、出力装置に問題がある。単に歌が苦手、不器用なだけ、声帯のリハビリなどで治る。
- \* 思い込み音痴：最も頻度が高い。遡れば明治政府の音楽教育要領（西洋音楽重視）が原因。「オタマジャクシ」読解重視の教育で音楽嫌いになる男子が多いのでは。ブラスバンド、音楽大の学生は男女比が1対9と圧倒的に女子が多い。音楽は正しいか間違いかではなく、美しいか美しくないかである。

尚、カラオケは多くの「音痴」で悩む人のリハビリセンターである。

以上、文章ではとても書き尽くせませんが本当に面白いお話でした。



懇親会風景

続いて会場を旧居留地十五番館に移し、恒例の懇親会を開催し、ビール、ワインを傾けながら会員相互の懇親、交流を深めました。

4月に入会、初参加のラグビー部OB 渡辺義博会員の音頭による「若き血」の大合唱でお開きとなりました。

#### 同好会について（幹事にお問い合わせください）

PC同好会：市川義人

囲碁同好会：林 邦一

絵画同好会：八巻晤郎

KKJC（神戸慶應ジャズクラブ）：内山景介

ゴルフ同好会：近藤 正

テニス同好会：茂木立仁

## ～ 2002 年度総会のご案内 ～

日時：5月24日（金）18：00～21：30

ご注意：開始時間が早くなっています。

場所：メリケンパークオリエンタルホテル

5階「天空の間」

記念講演（18：00～18：30）

講師 前川哲治氏

ストレスカウンスレングセンター所長

演題 「閉じこもり症候群」

第一部 総会（18：30～19：10）

第二部 懇親会（19：10～21：30）

会費：8000円（同伴ゲスト歓迎）

二次会 14階のヨット倶楽部を貸切にて

ハーバーランドの夜景を楽しみます。

（会費：2000円）

## ～ 評議員会・幹事会合同会議開催報告 ～

4月18日（水）倶楽部ルームにおいて2001年度最終の評議員会・幹事会合同会議を開催致しました。議題は下記の通りで、5月の総会の議案書に基づいて審議致しました。

第一号議案 2001年度事業報告承認の件

第二号議案 2001年度決算承認の件

第三号議案 任期満了に伴う役員改選の件

第四号議案 2002年度事業計画（案）の件

第五号議案 2002年度予算（案）承認の件

審議の結果、原案を一部修正して総会にすることに承認されました。

詳細については別途、総会議案としてHPに掲載するとともに、MMで流していますので、そちらをご覧ください。HP等での閲覧ができないという方は事務局へご連絡いただければ別途郵送致します。

議案書のボリュームが多いため全員への郵送は致しておりません。郵送ご希望の方は、事務局にご連絡ください。

# 会員だより

## 「先祖のお陰」

浦上忠文(昭44政)

皆さんは、なぜ慶應義塾に学ばれたのでしょうか。私には、はっきりとした理由があります。郷土の力です。祖父、父の力です。

私が生まれた疎開先は、岡山の足守という古い陣屋町で、福沢諭吉が学んだ「適塾」の緒方洪庵の生誕地であります。

祖父は医師で、昭和2年に洪庵誕生の地に石碑を建てました。当日は、小さな足守の町に、塾長や京大総長が来られたそうです。大学生だった父は、「洪庵は世界的な人物です」という塾長のあいさつを聞き、そんな偉人を紹介する本が一冊もないことを、郷土の人間として申しわけなく思ったそうです。そこで一念発起して、昭和19年に「適塾の人々」という本を著しました。後に「適塾」研究のテキストになったそうです。

戦後、父は、毎日新聞編集の仕事をやりながら、「若き日の福沢諭吉」という少年本も著しています。幼い頃「洪庵さんのような偉い人になれ」と、祖父に言われ続け、謹んで父の著書を読んだ少年に、いったい「慶應義塾」以外のどこで学べというのか・・・。

というわけで、わが家の男3人兄弟は、みんな「塾」に学んだのであります。

「洪庵、諭吉プラス父祖パワー」が、今日も、私のエネルギー源です。

## ～～慶早ゴルフ対抗戦～～

森本 泰暢(昭60法)

4月12日(金曜日) 慶早ゴルフコンペが廣野ゴルフ倶楽部にて開催されました。

神戸早稲田倶楽部より木下会長をはじめ6名の参加を頂き、当倶楽部からは14名が参加し、絶好のコンディションのなか、プレーと懇親会で大いに盛り上がりました。

対抗競技は各倶楽部の上位5名によるネット合計で競われ、結果は8ストローク差で、神戸慶應倶楽部が勝利致しました。

個人戦では神戸早稲田倶楽部 木下会長が昨年に引き続き優勝され、2位は神戸慶應倶楽部の藤木康信さん、3位も神戸慶應倶楽部の西脇良一さん(昭30法))が入賞されました。



優勝カップは今年もわが手に！！

## 遠征ゴルフ参戦記

横田 洋子(昭49文)

東京三田倶楽部との第1回東西対抗ゴルフコンペが、4月9日霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催。前夜は帝国ホテルの東京三田倶楽部に両メンバーが集合。初対面とは思えぬ盛り上がりの中、午後11時まで美酒と美対談に酔った楽しい前夜祭となりました。

翌9日、新緑鮮やかな美しい霞ヶ関C.C.で総勢20名(男性17名・女性3名)の東西対抗戦が繰り広げられました。名門コースに歓喜する人、名物バンカーに泣かされた人・・・。

八重桜が咲き、小鳥のさえずりが聞こえる霞ヶ関C.C.は女神か、はたまた悪魔の抱擁か？女神に抱かれ優勝の美酒に酔われたのは東京三田倶楽部の瀧口さん！上位4名による東西対抗も東の勝利となり、神戸のメンバーは次回勝利奪回を誓って泣く泣く帰路に着いた次第です。

第2回東西対抗戦は神戸に場所を移します。



# 会員の輪

宮本恭延会員より

梶田裕嗣（昭 56 法）

## 近所の散策案内

昆虫クラブにいたせいかこの歳になっても散歩がてらに近所を散策して虫を眺めるということが続いています。昨年はなかなか機会に恵まれませんでした。それでも4月から7月は月一度位以下のポイントに足を向けました。

安上がりレクリエーションご案内

### 『私の散策ポイント』

～丸山公園から柚谷（そまだに）にかけて～

4月の桜の後はいろいろなアゲハが見れます。春型はナミアゲハでも美しい。めったに逢えないですが、たまにカラスアゲハがやってきます。その他越冬あけのアカタテハ、キタテハなどにめぐりあえるときも有ります。5月後半から6月中旬にかけてが最高の時期です。アゲハは夏型の大きいのにモデルチエンジ。柚谷の砂防ダムに向かう途中でウラゴマダラシジミがとんでいたり足元にセンチコガネが歩いていたりと「灘区もまだまだ虫がいるなあ」と感じれることと思います。

この時期丸山公園ではテングチョウや大型のヒオドシチョウも発生しています。6月下旬になるとコクワガタ、ノコギリクワガタにうまくいけば逢えます。このジャンルは子供と取り合いになる為空振りのケースもまま起こりますが…。朝早く行くとアカシジミやウラナミアカシジミ等のゼフィルスにあう事もできます。オタク的な虫の名前については一度図鑑でも確認いただくと幸いです。

次は柏木進人先輩(昭 52 商)、よろしく御願いたします。



松田明日香会員より

山崎えみ（昭和 48 文）

## 1 分半の挑戦

ある日、日本語の生徒のT氏がレッスンにやって来て言った。

「アシタ スピーチ ヲ シマス キョウ レンシュウ オネガイシマス」

聞けば、翌日会社の顧客を集めた会合で挨拶をするのだが、冒頭の1分半だけを日本語で話したいと言うのだ。T氏は英国人のビジネスマンで、日本語の学習を始めて3年目だ。多忙の為、レッスンはキャンセルしがちで、レベルは依然初級のままだ。使える表現は限られている。でも、易しい表現でお客にアピールしたいとT氏。結局、平易な表現で会社の紹介や謝辞を含めた1分半のスピーチがまとまった。1時間、実技の練習をした後「アシタ ガンバリマス」と言ってT氏は帰った。

翌週、いそいそとやって来たT氏。「スピーチ ダイジョウブ デシタ ミナ メ オオキカッタ デス」と指を丸めて目にあてて見せる。

T氏が日本語で話すのを初めて聞いた顧客やT氏の会社の人達までもが、驚いて目を見張ったと言う。大きい拍手があったとT氏は嬉しそうだ。「ツギ 3 プン シタイデス モット タクサン ベンキョウ ヲ シマス」と抱負を語る。たった1分半の挑戦が、もたらすものは大きい。私は、T氏に心からの拍手を送った。

次号は堀越啓子さん(昭 62 文)にたすきを渡します。

今月の絵



(絵画同好会：玉田和子)

## 新入会員紹介

### デジカメで撮った例会・懇親会の写真頒布のお知らせ

#### 対象の写真

2月例会とオークション・懇親会、  
4月例会と懇親会

#### 頒布の方法

CDをお渡しします。(＠200/枚)

写真をCDから自分のパソコンに取り入れ編集したいが方法が分からないという方には頒布当日にVIXを使って編集までの講習をします。

(VIX：インターネット上から無料でダウンロードできるデジカメ編集ソフト。ダウンロードの方法も講習します。)

自宅にパソコンのない方でも倶楽部のパソコンを使って写真編集し、プリントアウト出来ますのでパソコンがなくても講習に参加できます。



第一回頒布日：5月16日(木)13:00～17:00

CDを用意する必要がありますので、ご希望の方は事務局までメールまたは FAXでお申し込みください。

なお本件に関するお問い合わせは、八巻まで

### 今後の行事予定

- 2002年度総会：5月24日(金)  
メリケンパークオリエンタルホテル
  - 神戸倶楽部・関西不動産三田会合同例会  
6月14日(金) 神戸ポートピアホテル
- これから先の行事予定は次号6月号に詳しくお知らせいたします。

#### 編集部よりお願い

月刊BRBをより充実したものにするために、  
皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

#### 編集後記

○青く澄み渡った空に鯉のぼりが泳ぐ季節、六甲の山並みも新緑が鮮やかで、何をやるにも充実した気分になれるはず。社会情勢もこうなっただけでほしいと願うのは、受身体制の私のせいでしょうか。

○倶楽部ルームに最新鋭のパソコンが導入され、何でもできる環境になりました。が、悲しいことにイマイチ機器の進歩に付いて行けずに、必至にぶらさがっている有り様。それでも暖かく迎えてもらえるのは、塾社中のありがたさです。(ほ)

○五月の声を聞くとほっとする。二ヶ月にわたるフガフガ、ズルズルそして連夜の咳と睡眠不足をもたらす花粉症とサヨナラできるからだ。

震災後の道路工事とビル取り壊しの粉塵でこのうつつとうしいアレルギー症にとりつかれた。しかし今年は、天候異変で関西は花粉の飛来が少なかったのか、十二月から予防を始めたのが効いたのか、症状が嘘のように軽かった。もう来るかも来るかとおそれた夜の咳もたった二夜。熟睡の日々が続き体調も上々。これでBRBの掲載原稿がどんどん集まれば言うことなし。五月の運勢を見れば「天女の微笑みに八面六臂運か」と何やら良さそうな感じ。みなさんのご投稿をお待ちします。

(晤)